

平成29年度

# 議会報告・懇談会

～市民と議会のつどい～

三次市議会



# 次 第

## 1 開会あいさつ

## 2 第1部 議会報告

### (1) 常任委員会からの報告について

#### ア 総務常任委員会

- ・三次地区拠点整備事業について
- ・その他

#### イ 教育民生常任委員会

- ・市立三次中央病院の課題解決に向けた取組について
- ・市内全小中学校 普通教室・特別支援教室へのエアコン設置について

#### ウ 産業建設常任委員会

- ・JA 三次集落法人グループとの意見交換会について
- ・三次市有害鳥獣駆除班との意見交換会について

### (2) 質疑応答

## 3 第2部 議会懇談（ワークショップ）

### (1) テーマ：「地域を活性化するためには」

## 4 閉会あいさつ

## 総務常任委員会報告

### 1 三次地区拠点整備事業について

#### (1) 経過

平成23年から三次地区において、三次地区全体の拠点性とにぎわいを創造することを目的として、三次地区の歴史・文化・自然や三次市文化会館の移転に伴う跡地を生かしながら、どのようなまちづくりをめざすのか議論されてきました。

◎『三次地区のまちづくりを考える会』では

「まちづくり行動計画」(平成25年3月)

まちづくりの目標と方向性が示され、そのなかで「三次まちごとまるごと博物館」の考えが示されました。

「三次市文化会館の跡地利用及び拠点整備の基本構想」(平成26年2月)

機能として①まちめぐり情報案内機能②まちめぐり発着地機能③魅力鑑賞・体験アミューズメント機能④三次地区の歴史・文化の伝承機能⑤地区内外の交流・まちづくり貢献機能が掲げられ、まとめられました。

◎『三次市』では、

「三次地区拠点整備基本計画」(平成26年11月)

「三次地区のまちづくりを考える会」によりまとめられた「行動計画」や「基本構想」をもとに、拠点整備に関してより具体的な計画の内容が示されました。

「三次地区拠点施設(施設概要、配置計画等)について」(平成28年12月)



「湯本豪一コレクション」の寄附に伴い、稲生物怪録及び妖怪関連資料の展示の充実を図ることとし、「展示棟」は妖怪をテーマとする博物館に、「交流棟」は文化・観光まちづくりの拠点施設とする整備内容が示されました。

#### (2) 総務常任委員会の審査の状況について

【議案審査】平成28年12月定例会

湯本氏からコレクションの寄附を受ける「負担附寄附について」の議案が提出されました。寄附物件の効果見込み、管理体制など示した事業計画や収支計

画を早期に示し、意見や提案を収集するよう要望しました。

**【自由討議】**平成29年3月定例会

「湯本豪一記念日本妖怪博物館整備に係る課題等」について自由討議を実施しました。博物館整備の提案にあたり市民の理解が不十分な点が見受けられるので、博物館建設に至る経過や建設後の市全体に与えるメリットなど積極的な啓発活動を行う必要があることを議員間で確認し要望しました。

**【所管事務調査】**平成29年6月定例会

市民への説明会や広報など周知を図る取組状況について、担当部署に調査を行いました。取組内容や今後の予定等などの説明を受け、設置した各種委員会で充実した議論がされることや、今後も説明会をはじめ、妖怪についてなど市民に十分理解してもらうことを求めました。

**【陳情審査】**平成29年9月定例会

「妖怪博物館」の建設を中断し、パブリックコメントをすることなどを求め、署名を添えた陳情書が議長に提出されました。陳情書提出者や所管部署への意見聴取する審査のほか、委員会が執行部と陳情書提出者の意見交換会を開催し、その内容を基に審査を行い不採択の判断と決定しました。

## 2 その他

そのほか、総務常任委員会として次のとおり自由討議などを実施しました。

『JR 三江線跡地利用について』（自由討議）自治体に対して譲渡の条件や維持管理について短期間での回答を求めてきた JR に対し、短期間での回答期限とせず、自治体から十分な意見を聞き対応していくよう求める意見が多くあり、課題を共有しました。

『投票区の見直しについて』（所管事務調査）県知事選挙（実際は衆議院選挙）から95カ所から78カ所に投票所の統廃合を行う案に、市民への説明と同意が基本であり、代替え交通の確保、また投票所を変更したことの周知を十分行うことなど、市民を混乱させないように担当部署へ求めました。

『各自治組織会長との意見交換会』 「定住対策について」をテーマにして意見交換を行い、各自治組織の取組や意見を伺いました。今後の議会活動にどのように生かしていくかなど、意見交換のあり方を検討しました。

# 教育民生常任委員会報告

## 1 市立三次中央病院の課題解決に向けた取組について

昨年の「平成28年度議会報告・懇談会」を開催した21会場において、市立三次中央病院に対する疑問やご意見を18件いただきました。

内容は、診療の待ち時間、入院に関すること、医師や看護師、病院スタッフの対応に関する意見などでした。本委員会としては、市立三次中央病院に出向き、これらの意見に対する取組についてヒアリングを行いました。

### (1) 「診療の待ち時間」に関すること。

市立三次中央病院は、急性疾患または、重症患者の治療を24時間体制で行っており、更には、備北二次保健医療圏のみならず、安芸高田市、世羅町などの近隣市町や島根県南部までの広域にわたる来院者がおられることから、特に初診で紹介状をお持ちでない患者さんの待ち時間が長くなっています。

(調査内容) かかりつけ医からの紹介状には、病状・検査結果・処方薬などの医療情報があり、重複した検査などが不要となるなど、スムーズに診察が行えることから、結果、患者さんの待ち時間の解消になります。

このことは、以前から広報等を通じてお知らせしていますが、引き続き、あらゆる場面での周知を図ります。

しかしながら、この「待ち時間」については、大きな課題と認識しており、根本的な原因を病院内でもTQM(Total Quality Management)活動として、初診や予約診療などの各部門の現状から、何が原因なのかなどの調査を行っています。

### ■ 患者満足度調査結果について 市立三次中央病院だより「花みずき第29号」より



外来患者さんのアンケート調査では、医師、看護師、検査技師の「態度や言葉づかい、説明」等が高い評価を受けていますが、やはり「診療の待ち時間」が低い評価となっています。

(委員会からの意見・指摘事項)

長い待ち時間となる患者さんへは、引き続き、丁寧な対応に努めてもらいたい。  
また、診察の待合室などに「検査にかかる時間や診療の流れ」を目で見えて理解できるような表示を検討してもらいたい。

(2) 「入院」に関すること。

市立三次中央病院で入院することになっても、比較的早い段階で退院となると感じています。



入院支援センター

(調査内容) 国の医療における方針は、急性期治療を終えた慢性期・回復期については、地域包括ケアを含む在宅医療への移行を促している背景があります。

しかしながら、これまで当院に入院される場合の事前の説明が十分でなかったと認識しており、この4月から「入院支援センター」を設置し、看護師、薬剤師などが患者さんのそれぞれのケースに沿って、今後のどのような期間入院が必要であるかなど事前に説明を行う取組をすすめています。

(委員会からの意見・指摘事項)

入院する患者さんに理解していただけるよう、引き続き、「入院支援センター」の充実をお願いします。

## 2 市内全小中学校 普通教室・特別支援教室へエアコンが設置されます。

今年度中に学習環境整備事業として、市内の全小中学校の普通・特別支援教室にエアコンが設置されます。

既に設置されている学校から  
「夏の暑い日でも集中力が持続する。」  
「涼しい午前中にクラブ活動、午後、教室で  
補習ができる。」



エアコンが整備された小学校

## 産業建設常任委員会報告

産業建設常任委員会が活動した中から、次の団体との意見交換会を実施し、そこで出た意見等に関する一般質問をしたことについて報告します。

### ～ JA 三次集落法人グループとの意見交換会 ～

#### (1) 集落法人グループの現状

現在、35法人あり、株式会社、個人や集落型で行っており、特に集落型は高齢化が進んでいる。また、高齢のため農業ができなくなり、集落法人に預ける方が増え、農地集積が進んでいる。一方で、管理する農地が増え、現状を維持することが困難な状況になりつつある法人が出てきている。

#### (2) 意見交換会を受け、次の一般質問をしました。

**問】**土地改良事業の中に除草対策、センチピードグラス、防草シート等、農家の重労働が軽減できる支援をしてはどうか。

**答】**中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金を活用し、畦畔へのセンチピードグラス吹付や防草シート設置の取組をされている集落もあり、市としても、これらの制度の有効活用を推進していきたい。

**問】**市は、集落法人の担い手育成と経営強化策についてどのような取組をしているのか。

**答】**担い手の育成・確保では、JA、県等の関係団体と担い手支援推進チームを結成し、経営の改善発展に向けた取組を進めている。

経営強化策では、市の単独事業と補助事業を充実させながら、各種施策を進めている。（例えば、振興作物野菜等の促進、経営の多角化や生産拡大に要する設備等の支援）

#### 【今後の課題】

農業従事者の高齢化は、喫緊の課題と感じた。市では、三次市農業振興プランに基づき、様々な支援策等をされている。この計画にある支援策等が利用しやすく、効果的であるよう、私達は提言をしていかなければならない。



## ～ 三次市有害鳥獣駆除班との意見交換会 ～

### (1) 有害鳥獣駆除班の現状

高齢化が進んでいるので、若い人に狩猟免許を取得してもらいたい。近年、猟友会や環境省のPRもあり、女性の狩猟免許取得が増えている。

駆除班を好きでやっていると思う人もいるが、ダニにかまれる等の苦勞をしていることもわかってもらいたい。

駆除は、農家と駆除班と地域の人とが協力しないと効果が上がらない。

### (2) 意見交換会を受け、次の一般質問をしました。

問】効果的な鳥獣対策を図るため、解体施設を整備し、ジビエの普及促進をしてはどうか。

**答】**三次市農業振興プランで、ジビエの普及、利用促進をすすめている。

市の補助事業を活用し、民間事業者が野生鳥獣の加工処理施設を整備されている。こうした施設への捕獲鳥獣の安定供給やジビエとしての商品開発、普及等、関係者と連携して取り組んでいきたい。

問】現在、ツキノワグマは、保護すべき鳥獣として県が第一種特定鳥獣保護としているが、目撃情報が増加している。クマ対策を実施すべきと考えるがどうか。

**答】**新たな計画では、保護、緩衝、防除、排除の4つのゾーンを設けて、住み分け対策を強化される。本市でも、出没状況、被害状況に応じて、住民の安全確保の観点から、引き続いて、県への捕獲許可申請を行っていく。

### 【今後の課題】

駆除班は、鳥獣被害が広がらないよう大変苦勞されている。駆除班においても、若者の参加が課題である。解決には、狩猟免許取得に係る補助、捕獲奨励金等の増額、費用面でのサポート等も必要である。効果的な駆除は、駆除班、地域、行政が一体となり、対応しないといけないと改めて感じた。

## 第2部 議会懇談（ワークショップ）

ワークショップとは・・・一方通行的な知や技術の伝達でなく，参加者が自ら参加・体験し，グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする，双方向的な学びと創造のスタイルです。

1 参加者を最大3つのグループに分け，イスを円状に並べる。

・参加者が少ない場合等，臨機応変に対応する。

2 班員が，司会と書記としてグループに加わる。

3 テーマに沿って，対話をする。（30分）

### 注意事項

- ・人の意見について否定や断定をしない。
- ・お互いが対等な立場で話す。
- ・全員が必ず1度は発言する。
- ・愚痴だけにならないように前向きな話をする。

4 話し合った内容をまとめ，グループごとに発表する。（20分）

・発表者は，班員又は参加者

## 総務・教育民生・産業建設常任委員会の担当業務

### 総務常任委員会

担当	総務部，政策部，財務部，地域振興部，支所，会計課，議会事務局，選挙管理委員会，監査委員及び公平委員会の所管に属する事項 他の委員会に属しない事項		
所属	杉原 利明（委員長）	小田 伸次（副委員長）	竹原 孝剛
	福岡 誠志	穴戸 稔	横光 春市
	弓掛 元	重信 好範	

### 教育民生常任委員会

担当	市民部，福祉保健部，子育て・女性支援部，市民病院部及び教育委員会の所管に属する事項		
所属	大森 俊和（委員長）	鈴木 深由希（副委員長）	岡田 美津子
	齊木 亨	山村 恵美子	藤井 憲一郎

### 産業建設常任委員会

担当	産業環境部，建設部，水道局及び農業委員会の所管に属する事項		
所属	保実 治（委員長）	澤井 信秀（副委員長）	助木 達夫
	池田 徹	新家 良和	桑田 典章
	伊藤 芳則	黒木 靖治	

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

議会に関するお問い合わせ先

議会事務局

電話番号：（０８２４）６２－６１７９

FAX：（０８２４）６２－６１１０

メールアドレス: [gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp](mailto:gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp)